

# 飼養・管理・防疫マニュアル

(平成28年3月18日更新)

## 牧場内への病原体の持ち込みをシャットアウト！

- 関係者以外の立入りを制限しましょう！
- 入口での消毒を徹底しましょう！（靴, 手指も）
- 専用の服, 靴に交換しましょう！
- 病気の心配がある馬の導入は, やめるか延期しましょう！
- 新規導入馬は, 病気の心配が無くとも, 2週間は既存馬から離して管理しましょう！
- 新規導入馬の管理は, 既存馬の後にしましょう！

- 関係者以外
- 病気の馬



牧 場

消毒, 着替え  
靴の交換  
新規導入馬の隔離

## 牧場内の環境を整備しましょう！

- 馬房は定期的に清掃と消毒をしましょう！
- 特に空馬房は石灰等で十分に消毒しましょう！
- 餌桶, 水桶は, 馬別に使用しましょう！
- 餌や水は適切なものを与えましょう！
- 手入れ道具も馬別に使用しましょう！
- 他の動物(ネズミ, 犬, 牛など)との接触を避けましょう！
- 放牧地の水たまりは無くしましょう！



消毒, 石灰散布

## 馬の健康管理をしましょう！

- 体温測定などの健康管理を毎日行いましょう！
- 異常を発見したら早めに獣医師の診察を受けましょう！
- 特に複数頭の場合は, より早急に対応しましょう！
- 予防注射や駆虫を定期的に行いましょう！

## 牧場内への病原体の持ち込みをシャットアウト！

### 関係者以外の立入りを制限しましょう！

- 病原体の持ち込むのは、人、車両、動物、敷料など様々です。
- それを防止するためには、まずは関係者以外が立ち入らないようにしましょう。もし立ち入る場合には、十分な消毒(衣類、長靴等)を行いましょ。
- 車両は、可能な限り牧場内に入れないようにしましょう。もし入れる場合は、十分な消毒(特にタイヤ)をしましょ。
- 動物(特にねずみ)の侵入を阻止しましょ。完全に阻止することは不可能なので、定期的に駆除しましょ。

### 入口での消毒を徹底しましょ！(靴、手指も)

- 厩舎の入口に手指及び靴を消毒可能な消毒槽を設置し、消毒を徹底しましょ。

### 専用の服、靴に交換しましょ！

- 作業用の衣服や靴を使用し、病原体の持ち込みを阻止しましょ。

### 病気の心配がある馬の導入は、やめるか延期しましょ！

- 病原体を持ち込む可能性が最も高いのは病気に罹った馬です。導入をやめるか延期しましょ。

### 新規導入馬は、病気の心配が無くとも、2週間は既存馬から離して管理しましょ！

- 潜伏期(病気が隠れている期間)の可能性もあるので、新規導入馬は2週間程度は既存の馬から離して飼育しましょ。

### 新規導入馬の管理は、既存馬の後にしましょ！

- もし新規導入馬が病気を持っていても伝染を阻止するために、その管理は既存馬の後にしましょ。

## 牧場内の環境を整備しましょう！

### 馬房は定期的に清掃と消毒をしましょう！

- 病原体は蓄積しますので、定期的に排除することが重要です。
- 特に空馬房は石灰等で十分に消毒しましょう！

### 餌桶、水桶は、馬別に使用しましょう！

- 馬の病気は馬から伝播する可能性が最も高いです。

### 餌や水は適切なものを与えましょう！

- 古いものや放射線の影響が疑われるもの(雑草等)は危険です。

### 手入れ道具も馬別に使用しましょう！

- 特に皮膚病の伝播は注意が必要です。

### 他の動物(ネズミ, 犬, 牛など)との接触を避けましょう！

- 病原菌を持ち込む可能性があるので注意が必要です。

### 放牧地の水たまりは無くしましょう！

- 水たまりは病原菌の生息場所になるので注意が必要です。

## 馬の健康管理をしましょう！

### 体温測定などの健康管理を毎日行いましょう！

- 日常管理で病気を予防することが重要です。

### 異常を発見したら早めに獣医師の診察を受けましょう！

- 早期発見, 早期治療を心がけましょう。

### 特に複数頭の場合は、より早急に対応しましょう！

- 伝染病の可能性も考えられますので、早めの対応が必要です。

### 予防注射や駆虫を定期的に行いましょう！

- 病気は予防が第一です。